

目次:

臨時号

児嶋きよみさん寄稿



児嶋きよみさん寄稿

ハバネロ通信 8月号 Office Com Junto 児嶋 きよみ

2013年7月 GlobalSession Report

期日:2013年7月6日(土)

時間:10:30 12:00

場所:ガレリア3階 市民活動推進センター 会議室

ゲストスピーカー:Margaret Mannさん

コーディネーター:藤田 宗次さん



5月ののゲストスピーカーを Margaret さんにしていただいた後、もう一度7月にも、最後の Global Session への参加もお願いをしました。亀岡に5年間住み、離れたくない気持ちと London での新しい暮らしへの期待と複雑な気持ちをこめて参加をしていただきました。このセッションで、亀岡への Margaret さんの熱い気持ちをくみ取っていただけたらと思います。そして、たくさんの ALT や CIR を送り出しましたが、再度訪ねて来た人はあまりいません。でも、彼女はきっと帰ってこられるような気がします。ヨーロッパでも、英国でもアジアでも、お誘いをして、時間が合えば、彼女とまた、会えると思います。

参加者 10 名:

8月号

HY：ニュースレターの編集委員をしていて、「国際タイムス」の編集で、Margaretさんと長くつきあいがあり、いなくなるのが寂しい。

GH：アメリカ出身でカリフォルニア州の弁護士・JETプログラムで愛媛県松山市にいたことがある。妻とは日本語学校で出会い、彼女が先生だった。

MH：Gの妻で6才の娘がいる。2年前にアメリカから帰国し、翻訳業務をしている。

3階のこのセンターでパートタイム jobとして、事務をしている。

MM：長岡京市から来ている。インテリアデザイナー・Margaretさんは、5年前から知っている(World Festa)などで。

ラオスの織物の輸入と学校を建設した。今は2校目を建設する手助けをしている。

(2014年1月にラオスの学校建設現場の視察旅行ツアーを計画中・Office Com Juntoと共催)

YH：教員をしていて、退職。9月にロンドン近辺での英語集中講座を受講予定。

Margaretさんとロンドンで会えるといい。

EL：インドネシア出身・大学でインドネシア語教員をしている。京都に住んで8年になる。World Festaで毎年でコーナーを設置参加をしているので、亀岡は第2のホームタウンのような気がする。今回はMargaretさんが亀岡を離れると聞き、会いたいと思って来た。

HK：大津市在住・ツアーガイド・ヨーロッパやアジアへよく自由なツアーを立て、旅行している。Margaretさんには、姉妹都市のあるオクラホマ州立大学の造園建築学部の研修ツアーの受け入れを亀岡市がしていて、世話になった。今回は、Margaretさんが中国 ドイツ~英国と旅行すると聞き、話を聞きたいと思った。

TK：70年間亀岡に住んでいる。仕事で26ヶ国訪問したことがある。先週末インドネシアのバリに妻と行った。水彩画が趣味

KK：私も海外に夫と行くと、夫は木版画をやっているの、よく写生する。私は歩き回っている。

Margaret：5年前に初めてJETプログラムで来日したとき、1年で帰国するつもりだった。でも、亀岡に住んでその考え方が変わった。みなさんに「さよなら」は言わない。なぜなら、必ず帰って来るので。

藤田：では始めましょう。

Margaretさんは、亀岡の環境や人々や風景などを語っています。その中で、サッカー スタジアムが建設されるとして、いろいろなことを心配しています。施設を作る前に 観客の交通手段であるとか、ホテルがないなど、インフラについても、もっと考える必要があると言っています。

Margaret (M)：夏風邪を引いているので、声が変わります。お許し下さい。

藤田：「この最後のセッションで、亀岡への希望を述べ、皆さんの亀岡の将来についての考えを教えてください」と言う、センテンスが好きです。

M：私は、今、英国パスポートを持っているけれども、住んだことが無いので

日本より詳しくはありません。日本は心地よいです。

藤田：亀岡のインフラの話がありましたが、ホテルは二つ

くらいのビジネスホテルがありますね。あとは、

湯ノ花温泉に旅館がありますが。

M：ビジネスホテルだけでは、狭いし、少ないですね。

KK：料理旅館も街中にあると思いますが。

M：高いでしょう？

藤田：ベットの長さは問題は無いのでしょうか？

M：大丈夫です。亀岡にはトロッコ電車と保津川下りがありますが、そのほかにないのでしょうか？



8月号

藤田：観光ガイドの会でもいろいろ考えましたね。3時間コースで城下町を歩くとか。

M：バスプール(バスを留めるところ)がないですね。

TK：保津峡をぬけて亀岡に入ると田んぼがありますね。これが子どもの時から美しいと思いましたが。でも、昔は、電車の本数が少なく、一時間に2本くらいしか無かったですね。

HK：彦根市のひこにゃんはパリに行っていますね。ゆるキャラナンバーワンはひこにゃんでしょう。日本の漫画のキャラクターは、ヨーロッパでも人気です。市役所のプロジェクトとして取り組んだらいいですね。

藤田：滋賀県の長浜市は、盆梅展とか、祭りとか通りに人を呼ぶ工夫がたくさんされていますね。大河ドラマにもなったし。

HK：長浜は、新快速で行けますしね。

EL：亀岡はまだ魅力がたくさんありますよ。例えば、プールもすばらしいですね。京都から毎年息子を連れて来ていました。でも、車が無かったらバスの便がとても悪いですね。

KK：車が無い人のことはあまり考えていないみたいですね。

M：バスがあれば魅力があるところは、とても多いですね。西別院に英国スタイルのレストランがありますね。でも、バスの便は一日に2便ほどです。ほかにも、アルプラザの近くのレストランもJRの駅からも遠いし。サッカースタジアムが来ても、駅前で食べる場所もミスタードーナツしかないです。

GH：そのためのレストランやバスシステムなどを考えるセンスは亀岡市にあると思いますか？都市計画として。

TK：市長さんに手紙を出すとか

GH：京野菜売り場を作るとか

M：外国人旅行者は、どうしても大きな町に行く。日本人向けのことを考えないと。

KK：京野菜にこだわったランチを出すレストランとか。

YH：あゆもどきもいますね。天然記念物で岡山と亀岡にしかないとか。

TK：子どもの時には、取ってたくさん食べたと思います。サッカー場の周りの川にはブラックバスなどもいるらしいですね。

KK：市長さんは、あゆもどきも守るし、サッカー場も作ると言っていますね。

M：市役所内でもセクションごとに別々の目標でやっているみたいですね。

「市民生活のてびき」などを翻訳していると、内容がそれぞれ、ばらばらのことを言っているとわかってしまいます。他にも、アートセラピーをやっているみずのき美術館などもユニークです。プロジェクト保津川などの川のクリーニングから始まり、とてもユニークな活動を続けていますね。大学の交換プログラムに来た学生に日本語を教えるとかコミュニティであるといいですね。

藤田：勢いが必要ですね。

M：日本人でない人のためのプロジェクトもありますね。京くろかる隊など。

GH：Margaretさんみたいに流暢に日本語をはなせるといいですね。Londonではどうしたいと思っていますか？

M：JETプログラムで亀岡に来たのはとても幸せでした。2年目に学校訪問をして、子どもたちの目がいきいきして、国際交流を直にできたときのことが忘れられません。

最近、JET以外の外国人もとても増えて来たと思います。

彼らも、別の国に来てわからないこともたくさんあると思います。それで、日本語を英語に翻訳してホームページなどを作っているのですが。

ロンドンへ行ったら、日本領事館などと連絡をとり、在住の日本人の支援をしたいと思っています。英語を話せても、複雑なことはなかなか理解できないことも多いので。



8月号

年金システムなども各国でちがうので難しいと思います。

GH：アメリカでも法律用語はわかりにくいように書いてあります。

M：国民健康保険などもそうです。アメリカ国民でも国外にいても、年に35日以上、帰国して在住していたら、アメリカに税金を支払わなければならないという法律があります。

藤田：65才以上になったら、今までの5年間かけていた年金がもらえますか？

M：脱退の届けを出せば、一時金で3年分はもらえるようです。2年分は寄付。

KK：自分でかけておく plan が必要です。

GH：アメリカではそれが国としてないので、それぞれの家族に任されています。

M：親次第ですね。私が出た大学の授業料は、私立ですが、年に400万円です。州立大学はもっとやすいですが、私立は、ランクの高さもありますし、寄付金で経営しているので。

EL：インドネシアは国立大学でも高いですよ。昔より今の方がもっと高くなっていますし。

藤田：「Cheap」の意味ですが、質のことで「安っぽい」というような意味がありますか？

M：そうです。

藤田：「お得な」という英語はどのようにいうのですか？

M：Reasonable(リーズナブル)とか、"That's goodbuy" などと言いますね。

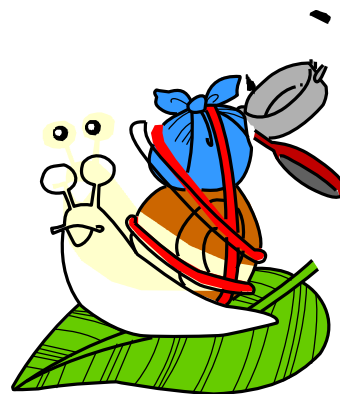
藤田：MMさんは、ラオスで学校を建てましたね。

MM：一校建てて、今もう一つを建てつつあります。壁は竹で作られていたので、壁にするというような修復をしています。家も近くにあるような集落の中にある学校です。街から車で2.3時間かけて行って、作業をして、夕方街に帰ってくるような日々を年に数回訪問してやっています。蚊が多いのでスプレーがいりますが。

EL：京都でも Non-Japanese の人口がとて増えています。子どもが学校に行くといろいろな問題が出て来ます。そのような子ども達への支援が必要ですが、誰がやるかが問題です。外国人在住者の市民という感覚が市役所にも、市民にも必要と思います。防災訓練もいいのですが、その時に出される豚汁は、イスラム教徒は食べられません。このようなことを共に語れる場が必要と思います。

GlobalSession の参加者は、さまざまなことをそれぞれ、気に入ってやっています。外国に学校を建てたり、日本にいる外国につながりを持つ人々の支援をしたり、Margaret さんもロンドンへ行ったら日本人に役立つことをしたいと言っています。自分が、どこの国の国籍を持っているのかではなく、国という境がどんどん無くなって来ているのを感じます。

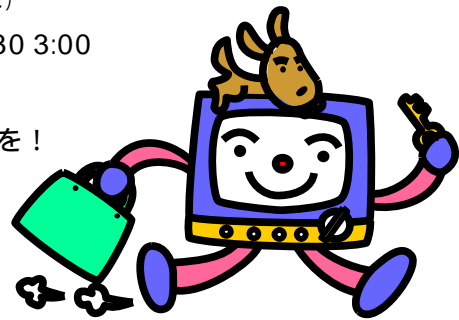
時々、このセッションの場に参加し、また、力を得て帰って行かれるような感じがします。この場で話されているのは、皆さんに理解できる英語のようです。決して Native English だけではありませんね。どなたでも、参加してみてください。黙って聞いていてもいいのです。わからなければ、「もう一度言ってね」と言うのも意見です。



8月号

今後の予定

1. 7月14日(日) 11:30~2:30 サマーフェスタ「流しそうめん」
ゲストハウス藤原邸 (Margaretさんも参加)
2. 7月27日(土) 姉妹都市 Stillwater との子どもアート交換プロジェクト
第1日目 ガレリア工作室(7月15日募集開始) Office Com Junto
元 Stillwater 市長の Bud Lacy さんがアート会場を訪問予定
夕方 6:30 からゲストハウス藤原邸でポットラックパーティ(一品持ち寄り)
どなたでもお子さんやお友達と、どうぞ
8月3日(土) 同上プログラム 第2日目(どちらかに参加可能)
3. 8月10日(土) GlobalSession ゲスト: Gary O. Haase さん(アメリカ)
4. 9月7日(土) GlobalSession ゲスト: William D. Berry さん(アメリカ)
5. 9月14日(土) 子どもグローバルセッション: 西本好江邸(予定)
6. 10月13日(日) 京都市国際交流会館で GlobalSession 1:30 3:00
ポストガルの服装史 濱田雅子さん
7. 11月ころ、関西フランス学院の方達と第2回セッションを!



Office Com Junto (児嶋きよみ)

tel : 0771-23-6579

e-mail : kiyomi-kojima@gaia.eonet.ne.jp